

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	英語
<p>問1 次の文章を日本語に訳しなさい。</p> <p>この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目

英語

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

出典 Edward L. Rubin, *Soul, Self, and Society: The New Morality and the Modern State*
(Oxford University Press, 2015) 163, 278-79. ただし、脚注を省略した。

問2へ続く

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	英語
<p>問2 以下の英文をすべて日本語に訳してください。ただし、引用文献・参照文献・注番号は訳す必要はありません。(出典：Lowande, Kenneth 2024. <i>False Front: The Failed Promise of Presidential Power in a Polarized Age</i>. The University of Chicago Press.)</p> <p style="text-align: center;">この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	英語
<p>この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	中国語
<p>以下の現代漢語文は、任重「比较民事诉讼研究的中国问题意识」中国法律评论 2022 年第 5 期（总第 47 期）から抜粋し、出題用に編集をくわえたものである。全文を日本語訳せよ。</p> <p style="text-align: center;">この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。</p>	

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

以 上

2026年度 名古屋大学大学院 法学研究科 総合法政専攻
入学試験問題

試験科目	日本語
<p>別紙の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。</p> <p>問1 空欄 A と空欄 B に入る最も適切な言葉を書きなさい。</p> <p>問2 下線部㉑について、著者は、広辞苑における「公用」という語の説明のどの点を問題だと論じているのか。説明しなさい。</p> <p>問3 下線部㉒について、「公私混同」における「公」の意味について、著者の解釈を説明しなさい。</p> <p>問4 下線部㉓について、著者が示した三つの例を基準として、「公」の字を含む13の語を類型化しなさい。</p> <p>問5 日本語の「おほやけ」「わたくし」、「公」「私」、英語の public/private の対応関係について、著者の見解をふまえた上で、あなたの解釈を書きなさい。</p>	

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

出典：渡辺浩『たとえば「自由」はリバティか：西洋の基礎概念とその翻訳語をめぐる6つの講義』（岩波書店、2025年）225-226, 231-234頁。出題の都合上、注を削除し、一部を改変した。